

## 「町田市の学校支援ボランティア活動者数」の推移から

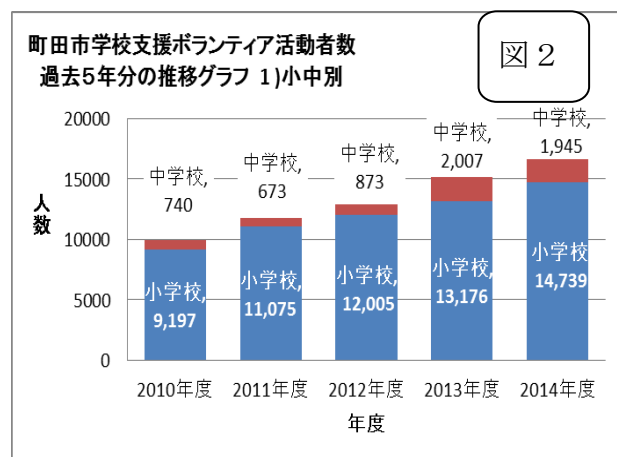
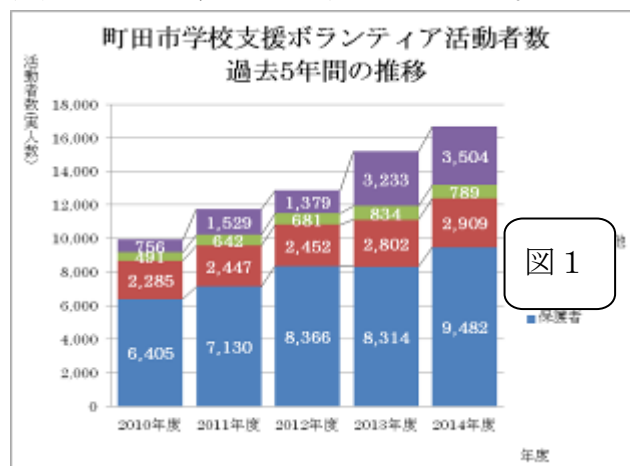
町田市の教育プランの基本方針のひとつは、家庭、地域、学校が連携した教育の推進です。この方針の基本施策トップに掲げられている「地域協働の学校づくり」のために、多くの学校支援ボランティアの方々にご協力をいただいております。

右の図1と図2は、「地域協働の学校づくり」に向けて、学校支援ボランティア活動にあたってきた実人数を過去5年間にわたって調べたものです。図1の「町田市学校支援ボランティアの活動者数/過去5年間の推移」を見ると、2010年度が9,937人であったのに対し、2014年度は16,684人と、5年間で約6,700人増加しています。平均すれば、毎年約1,700人ずつ右肩上がり増加していることとなります。

ここまでボランティア活動者数が増えてきた背景には、各校の校長先生はじめ教職員の皆さんやボランティアコーディネーター（以下「VC」）のご努力があったことと思います。昨年度にボランティアとして市内の小中学校で活動した16,684人のうち、57%が保護者、21%が団体等その他、17%が地域住民、5%が学生です。全体の中での保護者の割合の推移を過去5年間で見ると、64%(2010年度)→61%(2011年度)→64%(2012年度)→55%(2013年度)→56%(2014年度)となっており、保護者の割合が少し減少傾向にあることが幾分気にはなりますが、保護者がボランティア活動の中心であることには変わりありません。活動実人数はそれほど多くはありませんが、学生へのニーズは高いものがあります。優秀な学生を受け入れ、育てる仕組みが求められます。今後、学校支援ボランティアを確保していくためには、これまで以上に地域のシルバー層や保護者OBに声かけをしていく必要があると思われま

す。図2の「小中別の町田市学校支援ボランティアの活動者数」からは、市内小中学校で学校支援ボランティアとして活動された方の約88%が小学校で活動しています。特に、小学校では、登下校時の安全見守り、家庭科の授業におけるミシンの指導補助などの学習補助、稲作り、工作、昔の遊び、サマースクールなど、いろいろな場面でご支援をいただいております。中学校では、部活の指導補助、学校花壇の整備などにご支援いただいておりますが、最近では、放課後学習に取り組む学校が徐々に増えており、学校支援ボランティアへのニーズが少しずつ高まっています。

以上、簡単な考察を通して、学校支援ボランティアへの要請は高まることはあっても、衰えることは考えにくいのです。VCの皆様には、今後いっそう、自校で求められる学校支援ボランティアの発掘や調整にご尽力願いたく、ご活躍を期待しております。



理科/天気の話

図師小 5年 5/8



校長先生の講師紹介

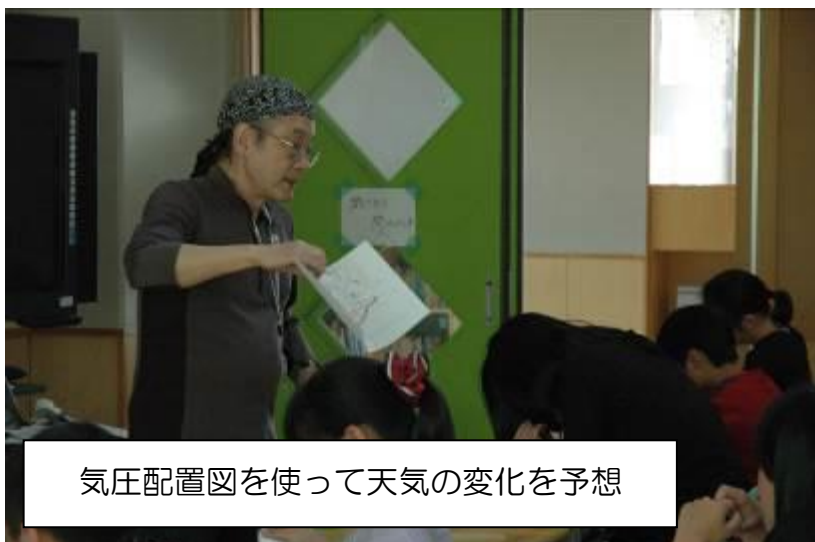
5年の理科では「天気の変化」について学習します。1日の雲の様子を観測したり、映像などの情報を活用したりして、雲の動きなどを調べ、天気の変化の仕方についての考えを持てるようにします。理解させたいこととして、「雲の量や動きは、天気の変化と関係があること」「天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できること」があります。

図師小学校の5年生は、気象予報士の資格をお持ちの方から「天気の話」をお聞きする機会がありました。

はじめに「雲の種類」についてPC画像を用いた説明をうけたあと、ペットボトルの中で雲をつくる実験をしました。各自が用意した500mlのペットボトルにお湯を注入し、「雲のタネ」を入れます。次にペットボトルを軽く押しつぶすと雲が消え、元に戻すとボトル内に雲があらわれました。ペットボトルの中で雲をつくることのできることは・・・雲のタネがお線香の煙とは・・・子供たちは少しずつ授業に引きこまれていきました



ペットボトル内で雲をつくる実験



気圧配置図を使って天気の変化を予想

休憩の後で、気圧配置図を用いて、天気の変化を予想する方法を教えてくださいました。専門家によるクオリティーの高い授業となりました。当日のゲストティーチャーは、元高校教師で、現在はシルバー人材センターの会員として、気象予報士の資格を生かせる分野で活動されています。

今回の事例は、同校のVCがコーディネートをしましたものです。「天気」「気象予報」「気圧配置」などでGTをお探しの学校は、同校VCか学校支援センターにお問い合わせください。

5月12日(火)、忠生第三小学校の3年生が全学級合同で3・4時間目の社会科の時間に地域めぐりを行いました。曇り空のもと、やや強く吹く風のなか、安全な通行に気をつけながらの地域の史跡めぐりでした。

「木曾の一本松」では地域にお住まいの是安さんのお話に耳を傾けました。小山の上に立つその一本松はどこからでも見える高く大きい立派な松で、道に迷うことのない目じるしにもなっていたが、残念にも60年ほど前の火事で焼けてしまったこと。また、一本松のあったこの小高い山は、約300年前の富士山の宝永大噴火で木曾一帯の畑に降り積もった火山灰をかき集めて作られたもので、富士山を鎮めるために祀った「富士塚」であることなどを、昨今の箱根の火山活動に結び付けて学ぶことができました。



木曾の一本松

再び町田街道を横断して訪れた「木曾観音堂」では、地域にお住まいの石川さんに詳しくお話いただいたお堂の由来・歴史を、子どもたちは正座でしっかり聴くことができました。木曾観音堂は天台宗の園城寺(三井寺)の「坊」の流れをくむ吉祥山住善寺覚円坊というお寺であること。平安末期に延暦寺により園城寺が焼き討ちされた折に、本尊の聖観世音菩薩像は守られて鈴鹿山麓に移されたが、その後この地に安置され、木曾観音と称されていることなどを学びました。



木曾観音堂



一里塚

近くの「一里塚」では、江戸時代に旅人や通行人の距離の目印に一里塚が置かれたこと、1里は約4000メートルであること、徳川家康の遺骨がここを通過して日光に運ばれたことなどを学びました。子どもたちからは「小さい家(祠)の中にはなにがあるのか」「横に立っているものは何か(燈籠)」などとたくさんの質問もされました。しっかりした事前学習がなされていることによるものと察せられました。

3年生から始まる社会科の学習で、「身の回りにあることをいろいろ調べ、知りたがりやになろう」という学習が着実に進められている様子が見られました。学校からの学習活動の目指すところと内容・方法について要請を受けたVCが、ご自身の地域との深いつながりを活かして企画・推進している地域めぐりです。

## 『町田市シルバー人材センター』の人材活用事例 Ⅱ ～農園の指導～

畑づくり 町田第五小 2年 5/13

町田第五小 VC から畑づくりを指導できる方をさがしてほしいとの要請を受け、シルバー人材センターや市役所内の農業振興課に問い合わせたところ、学校近くにお住まいのシルバー会員・大島さんが引き受けてくださることになりました。畑づくりの日は、台風6号の影響が心配されましたが、好天気に恵まれました。はじめに、大島さんから「けがのないように気をつけましょう」との注意があり、続いて、全員で培養土や肥料を畑にまきました。次に、スコップの使い方を教わり、交代しながらみんなで土を掘り起こしました。おおむね一時間でふかふかの畑になりました。みんなで畑づくりにかかわったことは、今後の主体的な野菜育てにつながっていくことと思います。



学校農園の畝づくり 木曽中 JRC部 5/19

木曽中にはJRC部があります。JRCとは、Junior Red Crossの略称で、青少年赤十字という意味なのだそうです。木曽中のJRC部は、主に学校内外のボランティア活動をしていて、これまでに「境川クリーンアップ作戦」や「盆踊り大会」など、地域の行事などでも意欲的に活動してきました。また、ハンディキャップのある人を支援するために手話を学習していて、手話コーラスの形で成果を披露することもあるそうです。今回は、学校農園を耕して、夏野菜を植えるための畝づくりに挑戦しました。ゲストティーチャーは、農園づくりの経験豊かなシルバー人材センター会員の小林さんをお願いしました。鍬の安全な使い方を教わった後、支柱と紐を使って、間隔のそろった畝を作っていました。



### 小学校地区別 VC ミーティング・中学校 VC ミーティングのお知らせ

本年度第一回のVCミーティングを開催いたします。小学校は校長会の地区割りにもとづいて6つに分けて行い、会場校については、地区内の学校で順送りにて決めさせていただいております。今回の会場校の校長・副校長先生やVCの皆様には、日程を繰り合わせるなどご配慮いただきましてありがとうございました。VCミーティングのご出席方よろしく願いいたします。

	地区名	月 日(曜)	時 間	会 場
小 学 校	1地区	6月 8日(月)	10:00~12:00	小山田小学校
	2地区	6月17日(水)	9:30~11:30	忠生第三小学校
	3地区	6月 9日(火)	14:00~16:00	三輪小学校
	4地区	6月22日(月)	14:00~16:00	町田第二小学校
	5地区	6月 9日(火)	9:30~11:30	成瀬中央小学校
	6地区	6月10日(水)	9:30~11:30	南第一小学校

中学校(全校)	6月3日(水)	9:30~11:30	市役所2F 市民協働
---------	---------	------------	------------